

豊臣秀吉と土山の城

甲賀市には、180力所を超える城跡が確認されており、地域の豊かな歴史を物語っています。その中でも、土山町北土山に位置する土山城跡は、豊臣秀吉との関わりが指摘されています。

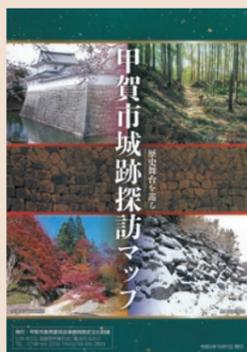
土山城の城主は土山氏とされ、『甲賀郡志』には、文明年間(1469~1487年)に土山鹿之助が築城し、天正年間(1573~1592年)には土山盛綱の代に滝川一益によって廃城にされたという伝承が記されています。

城の構造は、土塁で囲まれた方形の曲輪(主郭)を中心に、周囲を堀が巡っています。また、虎口は角馬出状の構造を持っており、戦国期の甲賀において、ここまで明確な馬出空間を備えた城は他に存在しません。

これまでの調査・研究から、土山城は土山氏が築いた後、外部勢力による改修が加えられ、他の甲賀の城よりも発展した機能を持つ城になったと考えられています。その外部勢力として、後に天下統一を果たした豊臣秀吉が推測されています。

天正12年(1584年)の小牧・長久手の戦いの際、豊臣秀吉が土山に着陣した記録があり、その際に土山城が改修・利用された可能性が示唆されています。その後、秀吉は家臣の中村一氏に水口岡山城を築かせており、このことから、鈴鹿峠を控える甲賀郡が秀吉にとって戦略的に重要な地域であったことがうかがえます。

『甲賀市城跡探訪マップ』では、こうした市内の代表的な城跡にまつわる歴史の物語を紹介しています。城跡が語る歴史に思いを馳せながら、地域の魅力に触れていただけましたら幸いです。なお、『甲賀市城跡探訪マップ』は歴史文化財課や歴史民俗資料館などで配布しています。



城跡マップ



データ版はこちら

問 歴史文化財課 埋蔵文化財係 ☎ 69-2251 ☎ 69-2293

もっと知ろう! 国スポ・障スポ スポっとライト

市内小中学生が応援のぼり旗を作成しました!!

全国から大会に参加する選手・監督・大会関係者をはじめ、甲賀市を訪れる多くの方を応援・歓迎するために、競技会場に設置する「応援のぼり旗」を作成いただきました。

大会期間中は各競技会場に、7月には甲賀市役所に47都道府県分の旗を展示しますので、ぜひご覧ください。



問 国スポ・障スポ推進室 ☎ 69-2253 ☎ 69-2293

共生社会の実現を!

手話コミュニケーション「あいさつ編」

手話は、聴覚に障がいのある方との大切なコミュニケーション手段です。共に生きる社会のために、まずは簡単な手話から始めてみましょう! 今回は「あいさつ」です。写真は右利きを基本にしています。



①はじめまして (はじめて+会う)



▲下向けの掌から人差指だけ上げる。

▲向い合わせた人差指の腹を平行に近づける。

②よろしくお願いします (良い+お願い)



▲(良い)拳を鼻に付け前に出す。

▲(お願い)お願いのポーズ。

このように手話の動作一つひとつには、意味が込められています。みなさんも普段のコミュニケーションに取り入れてみてはいかがでしょうか。市公式YouTubeでも詳しく解説しています。ぜひご覧ください。



▲市公式YouTubeチャンネル



問 障がい福祉課 施策推進係 ☎ 69-2161 ☎ 63-4085